

第4学年 国語科学習指導案

1 教材名 ごんぎつね

2 研究との関わり

- ・互いの考えのよさや共通点、相違点に着目して尋ねたり、応答したりしながら考えを深めていくよさに気付かせる。(生活の場面)
- ・兵十の家のつくりや使用している道具に触れ、社会科で学んだことを想起させる。(教科等横断的)

3 本時の学習指導

(1) 目標

おすすめを考え、作品の価値をリーフレットにまとめることができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開 (7/11時間)

学習活動	学習内容	○指導上の留意点 ※評価 ☆教科等横断 ★生活の場面
1 学習課題と学習の流れをつかむ。		○本時の課題を明らかにし、見通しをもって学習に取り組めるようにする。
課題 ごんぎつねのお話のおすすめはどんなところだろう？		
2 「ごんぎつね」を音読する。	○まとまりを意識した音読の仕方	○ごんや兵十の気持ち等を意識させながら音読をさせるようにする。 ☆兵十の家のつくりや使用している道具に触れ、社会科で学んだことを想起させる
今の家では、玄関の役割をする昔の家のつくりとは、何でしたか？		
3 おすすめしたい内容とその理由を考え、グループで紹介し合う。	○おすすめしたい内容の考え方 ・登場人物の気持ちがよくわかる場面 ・登場人物らしい行動の場面 ・物語の山場	○おすすめしたい内容を考えた理由をノートに記述させる。 ○ごんと兵十の気持ちを根拠としておすすめしたい内容を話し合わせる。 ★互いの考えのよさや共通点、相違点に着目して尋ねたり、応答したりしながら考えを深めていくよさに気付かせる。 ◎根拠となる表現に着目して、おすすめしたい内容について、理由を伝え合う。(思考・判断・表現)
<出させたい考えの例> 【作品の特徴】 ・ひとりぼっちのごんと、同じくひとりぼっちになった兵十との心のすれちがい。		
4 おすすめ(作品の価値、主題)を考える。 (1) 個々で考え、ノートに書く。 (2) 友達に紹介し合う。 (3) リーフレットに書く。	○おすすめ(作品の価値、主題)の書き方 ・どんなことが伝わってくる作品か。	○どのように書けばいいのかを考えさせるためのモデル文を示す。
<モデル文>「うさぎとかめ」 ・速く走るうさぎは遅いかめと競争するので、とちゅうでゆだんをして負けてしまいました。ゆだんきんもつだと教えてくれる作品です。 ・おそくてもあきらめずにかめは進んでいきました。どんなことにもあきらめないで取り組むことの大切さが伝わるお話です。		
<出させたい考えの例> 【作品から伝わってくること】 ・他人同士、わかりあうことは難しい、だからこそお互いに話し合ったり気を遣い合ったりしていくことが大切だと教えてくれる話です。		
友達のおすすめとその理由について自分と比べながら聞いてみましょう。質問があったらしてみましょう。		
4 振り返りをする。		◎おすすめを考え、作品の価値をリーフレットにまとめることができる。(思考・判断・表現) ★本教材をきっかけに、他の作者の「ぎつねの登場する」本への関心をもてるようにする。 ○作品の主題の読み取り方を意識した内容の振り返りを書かせるようにする。

4 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%; margin: auto;"> ごんと兵十の心情グラフ </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%; margin: auto;"> おすすめしたい内容 ポイント モデル文 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%; margin: auto;"> おすすめしたい内容 と作品のおすすめを考えよう。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%; margin: auto;"> 課題 新美南吉 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 80%; margin: auto;"> ごんぎつね </div>
--	--	---	--	--